

2025年度 法科大学院

第5期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文 1]

以下の文章を読み、続く問いに答えなさい。(200点)

H君とY君は、東京にある某私立大学法学部の4年生である。親友の2人は、大学生活で最後となる夏休みを満喫するために、9月上旬に静岡県南端にある南伊豆町を訪れた。海水温は気温に遅れて上昇するため、この時期の南伊豆町の海は温かい。

スキューバダイビングを終えた2人が、浜辺のベンチに座り、大きな夕日を眺めながら、近くのアイスクリーム屋で買ったアイスクリームを食べている。

H君 また蚊に刺された。かゆい～。しかも、逃げられた。今日だけで、もう8カ所も刺された。

Y君 またか。まだまだ暑いから、蚊が多いな。でも、俺は、今日は一度も刺されていないぞ。考えるな、感じるんだ、蚊の気配を感じとれ。そして、一撃で潰せ。

H君 ハハハ……。武術の達人以外、そんなことできるか。

Y君 そうは言っても、Hは、今日、蚊を一度も潰せていないじゃないか。こと蚊とHの関係においては、食物連鎖の上位者は蚊だな。

H君 なんだよそれ、……。他人事だと思って。

このやるせない気持ちは、美味しいアイスを食べた紛らわすぞ。

このアイスは美味しいな～。表面は硬い氷で覆われたソーダ味、中はしっとり濃厚バニラ。

Y君 ああ、うまいな。あのアイス屋の名物らしいぞ。確か、商品名は「スノーボール」だ。

H君 スキューバ後のアイスは最高だ。

今日の海は温かいし、すばらしかった。魚の数も種類も豊富。伊豆でこれほど多くの魚を見ることができるなんて、思っていなかったよ。時折見かけたカラフルな魚は、熱帯魚だよな？

Y君 そうだよ。熱帯魚さ。熱帯地域から黒潮で運ばれてきた熱帯魚だよ。海水温が高い時期は見ることもできる。でも、冬になると死ぬ。

H君 かわいそうだな。無駄死にか。

Y君 う～ん。どうだろう。⁽¹⁾

一般論を言えば、人間以外の動植物は急激な環境変化に対応できない。

H君 え！人間以外の動植物は、急激な環境変化に対応できないのか？

Y君 対応は難しいと言われている。そうだ、こんな話がある。

1997年と1998年に大規模なエルニーニョ現象¹が発生した。これによって海藻が死滅し、それをエサとするガラパゴス諸島のウミイグアナの数が激減した。このとき、エサを求めたウミイグアナが島内をさまよひ、そこに生息するリクイグアナと交配して、交雑種が生まれた。ハイブリッドイグアナだな。ハイブリッドイグアナは、リクイグアナのように陸の植物を食べた。一見するとウミイグアナは急激な環境変化に対応したように思える。しかしハイブリッドイグアナには繁殖能力がないから、急激な環境変化に対応したとは言えない。

- H君 生きることを諦めず、新天地を求めて挑戦するウミイグアナかぁ、感動した。いずれは繁殖力を持つかもしれないだろう。
- Y君 そうかもしれない。
- H君 生きることへの挑戦によって、地球は多くの動植物で満ちているんだな。
- Y君 豆知識だけど、動植物の種類は、赤道付近で最も多く、緯度が高い北極・南極付近で最も少ないぞ。
- H君 それ、聞いたことがある。前に見たテレビ番組で、どこかの大学教授が「熱帯地域は他と比較にならないほど動植物が多様であり、変化に富みます。ジャングルは生物にとっての集合住宅です。」って言っていた。
- Y君 動植物の種の50%以上が熱帯地域に生息していると言われている。ある研究者が熱帯雨林を調べたら、採取した昆虫の約96%が未知の種だったという報告もある。
- H君 何で、熱帯地域では動植物の種が多いの？
- Y君 いい質問だな。なぜだと思う？
その答えには、おそらく、俺たちの目の前の「あれ」が関係している。
- H君 え！どれ？
- Y君 ……あ、あれか。……なるほど、……なるほど。そういうことか。納得した。
- Y君 フフフフ。
H、本当はわかっているんだろ。
- H君 ばれたか。

¹ エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて、海面水温が平年よりも高くなる現象である。世界的な異常気象の要因の1つと考えられている。

問 1 下線部 (1) の Y 君の発言の意図を 500 字程度で記しなさい。

問 2 熱帯地域で動植物が豊富であるのは何故だと思いますか。あなたの見解を 500 字程度で記しなさい。

[小論文 2]

下記の【課題文】を読み、その内容を踏まえた上で、【問 1】と【問 2】に答えなさい。

解答は、解答用紙 [小論文 2] に記入すること。[小論文 2] では、字数指定はない。解答の際には、問いの番号を明記して解答すること。

【課題文】

<省略>

<社説 朝日新聞 2025年1月9日より抜粋>

【問 1】(50点)

課題文は地球温暖化に対してどのように取り組むべきと提言しているのか、課題文の中で使われているキーワード、またはキーフレーズを抜き出した上で、課題文の提言を要約して解答しなさい。

【問 2】(50点)

地球温暖化に対する課題文の提言について、あなたの見解を解答しなさい。